

入院診療計画書 光線療法をお受けになる パス テスト001 様へ

産科 4階北 病棟

442 病室

患者番号 0008985093






主治医氏名		印
主治医以外の 担当者 氏名	担当医師	
	看護師長	
	管理栄養士	
病名	新生児黄疸	
症状	血清ビリルビン値上昇・皮膚の色が黄い	
手術	なし	
特別な栄養管理の必要性	( あり ・ なし )	

【患者または代理者同意署名】

年 月 日

氏名

\*代理署名の場合 患者との続柄 ( )

推定入院期間	光線療法開始前 ( 月 日 )	光線療法開始後24時間	治療終了後24時間	治療終了後24時間以降 (退院)
注射・内服	なし	なし	なし	なし
検査	<input type="checkbox"/> 治療開始前、血液検査を行い、黄疸の値を調べます。(8時または16時頃)値が基準より高いと光線療法を(保育器の中に入り黄疸を排泄する光を浴びる治療)開始します	<input type="checkbox"/> 治療開始から24時間後に血液検査を行い、黄疸の値が下がっているかを調べます(8時または16時頃)	<input type="checkbox"/> 治療終了24時間後に、血液検査を行い、黄疸の値の上昇がないかを調べます(8時または16時頃、リバウンドチェック) <input type="checkbox"/> 退院診察(※朝から光線療法開始した場合のみで、夕方から光線療法開始の場合、翌日朝に退院診察を行います) <input type="checkbox"/> 朝と夕方に黄疸の検査をします	<input type="checkbox"/> 治療終了後24時間後の血液検査、退院診察が問題なければ退院できます
処置	<input type="checkbox"/> 目を保護するシールを付けて、光線療法を24時間行います。	<input type="checkbox"/> 黄疸の値が基準より下がっていれば保育器の外に出て、様子を見ます <input type="checkbox"/> 黄疸の値が基準より下がらなければそのまま再度24時間治療を続けます	 なし	<b>夕方の退院はできません</b> ※例えば…お母さんの退院日の夕方のリバウンドチェックで問題なくても退院は翌日になるため1日お預かりとなります
教育・説明・指導	<input type="checkbox"/> 医師から治療についての説明があります。 <input type="checkbox"/> 治療時間を確保するため、なるべく短時間で授乳を行いましょう。	→	なし 	<input type="checkbox"/> 退院後、皮膚の色が退院時よりも黄色くなったり母乳やミルクの飲み方が悪くなった場合は4階北病棟へ連絡してください。 <input type="checkbox"/> 退院後の授乳方法や育児方法について説明します。
安静度	なし	なし	なし	なし
食事	<input type="checkbox"/> 3時間毎に授乳を行います(1時、4時、7時、10時、13時、16時、19時、22時) <input type="checkbox"/> 授乳時は保育器を出て、直接授乳できます(赤ちゃんの状態により異なるので確認してください) <input type="checkbox"/> 赤ちゃんが必要な量をしっかり飲ませます(足りない場合はミルクを追加します)	<input type="checkbox"/> 保育器の外に出た場合は、赤ちゃんが欲しがるタイミングで授乳を行います(自律授乳)	→	 
排泄	授乳前後や沐浴前にオムツ交換をします	→	→	→
清潔	赤ちゃんの体調を見ながら沐浴をします	→		→
リハビリ	なし	なし	なし	なし
その他	なし	なし	なし	なし

\*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

\*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

\*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院

2019年 4月作成

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地 TEL:055-273-1111(代表)